



上尾ロータリークラブ



2013-14年度R.I.テーマ
ロータリーを 実践し みんなに 豊かな人生を



関口 和夫会長

第2514回 例会 会長あいさつ

2013.10.31

週報 No.1977
発行 2013年11月14日
会長 関口 和夫
幹事 齋藤 哲雄
副会長 齋藤 博重
副幹事 久保田 勲
編集責任者
クラブ広報委員長 野瀬 将正

ゲスト
川口ロータリークラブ
岡村睦美様
ビジターゲスト
青少年交換留学候補生
島村***さん
島村 薫様
11月21日 “End Polio This Close”
「世界最大のCM」
撮影について
結婚・誕生祝
(時間変更)
11月28日 卓話 古賀昇会員
「2014ロータリー
国際大会(シドニー)
について」

皆さん、こんばんは。会長挨拶をさせていただきます。
まず、ロータリーの友に8月の献血と柄杓の配布活動が掲載されました。野瀬広報委員長お疲れ様でした。
今週は、10月20日に大宮シティロータリークラブの例会「ラオス、日本祭り」に参加しました。当日は、神田パスト会長、名取パスト会長、齋藤副会長、渡邊会員、古賀会員の参加があり、神田パスト会長の年度でラオスでの井戸掘りの事業についてラオス大使に話すことができました。大宮シティロータリークラブの吉田会長より、出席のお礼の言葉を頂いております。
また、10月27、28日にかけて会員旅行で伊勢神宮に行ってきました。皆さん、色々なところで行かれる機会があると思いますが、ロータリーの仲間で行くことに意義があると思います。式年遷宮の年に正式参拝することができました。メンバー全員が、白玉砂利の中で参拝できました。個人扱いのため、会長が代表になれなかったのは、少し残念でした。当日は、私の誕生日でもあり良い記念になりました。帰りには、齋藤幹事も駆け付けてくれて下山講で、私の誕生祝いをしてもらいました。良い仲間を持つことができ、とても感激しました。
余談ですが、伊勢神宮の前に流れる五十鈴川は、自動車メーカーのいすゞの名前の由来だそうです。五十鈴川は、イエス川ではと言う説もあります。アビグドール・シャハン博士の「失われた十部族の足跡」と言う本の中では、三千年前にイスラエルから長い時間をかけて日本にたどり着いたユダヤ民族がいるそうです。日本語の中にはヘブライ語と似ている言葉があるということです。聖書では幕屋という、移動式の神殿が登場します。神道ではこの幕屋の形と同じように、20年毎に建替えられています。
また、日本人とユダヤ人との結びつきではと言うことで、君が代をヘブル語で読むことができるそうです。内容は、神を讃え、神の予言が成就したと言う意味のようです。この様な、説もあるようです。ご興味のある方は、お調べください。
以上をもちまして、会長挨拶とさせていただきます。本日も、よろしくお祈りいたします。

AGEO ROTARY CLUB

幹事報告

齋藤哲雄幹事

皆さんこんばんは。
◆『ロータリーの友』11月号53ページに、「打ち水大作戦」の様子が掲載されています。
◆10月27日に国際ロータリー第2770地区の青少年交換プログラムがございました。こちらは当クラブの会員親善旅行と重なってましたので、地区青少年交換委員会の幹事をお務めになっております大塚崇行さんに出席していただきました。
◆10月18日は第5グループの会長幹事会が行われました。このなかで地域社会奉仕委員会で当クラブの尾花パストガバナー補佐よりペットボトルの回収について説明がございました。当クラブもペットボトルの回収を行っています。最近回収率が減っているように感じられます。地区よりロータリーのロゴマークが入ったビニール袋を20枚いただいておりますので、会員の皆様のご家庭や会社での回収ご協力をいただければと思います。よろしくお祈りいたします。インターアクトの上尾高校にも依頼をさせていただきます。
◆そしてその際に尾花パストガバナー補佐より地区大会のお話をいただきました。手作りの地区大会、第5グループのかくし芸は当クラブの村岡パスト会長による尺八になりました。ぜひ応援をよろしくお祈りいたします。
◆11月10日、地区大会と日程が重なっていますが、上尾ロータリークラブ杯秋季ソフトボール大会が上尾市立大石小学校のグラウンドで行われます。こちらは関口会長にご出席いただき、そして会長は地区大会に移動していただきます。
◆本日の例会終了後、臨時理事会を行います。内容は、11月28日に予定していたガバナー公式訪問が、12月12日に変更になったことです。従いまして11月のプログラムの変更をしなければいけないこととなります。承認をいただきたいのでよろしくお祈りいたします。



◆11月15日、入会3年未満・新会員の集いが大宮ラフォーレ清水園で開催されます。対象者の方は参加よろしくお祈りいたします。

委員長報告

親睦活動委員会 樋口雅之会員

親睦活動委員会委員長の代理で報告させていただきます。10月27~28日の2日間、会員親睦旅行で名古屋〜鳥羽〜伊勢に行ってきました。雰囲気の良い楽しい旅行でした。
もう一つ、本日の例会後にコンテンツラリー1684で懇親会を予定しております。以上です。



ビジターゲスト

青少年交換留学候補生 島村***さん

皆さんこんばんは。私立大妻嵐山中学校3年生の島村***です。今回はご推薦いただきありがとうございます。無事合格することができました。私は昔から海外に興味があり、今夏、学校の行事でイギリスに3週間行ってきました。そこでは言語が違って伝えたいことがなかなか伝えられなくていい経験になりました。この3週間で日本との違いをわかりましたが、もう少し長い期間留学して文化や価値観を学びたいと思ったので、今回応募させていただきました。これから精一杯がんばっていきますので応援をよろしくお祈りいたします。

島村 薫様

皆さんこんばんは。日頃から主人はじめ家族みんながお世話になりましたありがとうございます。今回の留学は本人が決めたことですが、家族としてはまだ不安なところもあるので、いろいろな経験をして、小さな親善大使として、日本を海外にアピールしてくれたらと思っています。帰国してひと回りもふた回りも大きくなって帰ってくる娘を楽しみにしておりますので、皆さんご声援のほどお祈りいたします。

AGEO ROTARY CLUB

※個人情報保護の観点から
画像を削除しました

卓話

川口ロータリークラブ 岡村睦美様

皆さんこんばんは。
川口IRCから来ました岡村睦美と申します。まずは「絵」ってなんだろうという話からさせていただきます。
3.11の大震災のとき、私は川口そごうの中に画廊を1月に移したばかりで、3月に震災だったわけです。デパートは窓がありませんので震災後ストップすると真っ暗になります。ですから震災後1ヵ月間くらい、開店休業状態です。お客さんも来ないだろうと思っていました。そのような当時のわずかな開店時間に毎日毎日70代くらいの老夫婦が必ず画廊にいらっやいました。ゆっくり1時間くらい手をとって見ていて、その様子は声をかけづらいものでした。3週間くらい毎日毎日老夫婦がいらっやるので、ある時にある絵の前で老夫婦が泣いていらっやいました。デパートが通常営業に戻った際、老夫婦が私にお礼を言って「家でテレビを見ていると悲惨な状況ばかりのニュースしかなく、どこに行っても気持ちが悪くなる場所がなかったのに、この画廊に来た感じが落ち着く感じがなかったに気がして涙が止まらなくなりました」というお話をされました。その話を絵の作家に話したら、作家は「私こそありがとうございます。もしまた次回、老夫婦が来たら私の絵をさしあげてください」と言われました。なので次回、絵を差し上げようと思っていましたが二度と来ることはありませんでした。
それからデパートに画廊が移る前の話ですが、ある税理士さんがとても絵が好きで、具体的には小倉遊亀さんという女流日本画家さんの絵が大好きで、お金が貯まると小倉さんの絵を買う、ということをやっと続けてくださっていました。しかしある時ぴたっと画廊に来なくなりました。その10ヶ月後に奥



様が来られて、税理士さんが亡くなったと仰いました。突然ガンの宣告を受けて入院したのですが間に合わなかったそうです。入院中、税理士さんが「絵をぜんぶ持ってきてくれ」というので奥さんが持っていったら、絵に向かって「おはようございます」「おやすみなさい」と挨拶をするようになります。やすらかに永眠されたと思います。奥さんは仰っていて、仏壇の横に絵を飾ってあり、絵を見るとご主人とつながっているような気がするそうです。
今月はロータリーの職業奉仕と米山月間ですが、盲目の方もときどき画廊に来ます。目が見えないのにどうやって絵を見るのだろうか、私は対応にとまどっていました。目が見えないけど画廊の中にしばらくいて雰囲気を感じていらっやるようで、丁寧にご挨拶をされて帰っていかれていました。あるとき、不躰だったかもしれないが「目が見えなくて、彫刻などを触ってどうですか?」と尋ねたら「すごくあたたかさを感じる。この作品をつかった作家の気持ちが伝わってくるような気がする。生きる勇気をいただく作品のような気がします」と仰言いました。その後もロータリーの方がこの盲目の方に一生懸命作品に触れさせていて、こういうことが職業奉仕なんだなと改めて感じました。今の3つの話の中で美術の本質がすごく表れているのではないかと思ってお話いたしました。音楽と違って、美術は一瞬で人を癒すことはできませんが、毎日毎日絵を見ることによって、作家の魂のようなものと通じ合うことができ、穏やかになったりエネルギーを買ったりということができ、もししたら人間の内面を表せるものが美術、ひろくいうと芸術というのではないかと私は思っています。美術館で通り見ることを見て終わってしまうのではなく、毎日毎日見ることで、作家と魂の交流のようなことができるひとつの媒体であると私は思います。そのような素晴らしい媒体である絵に値段があるのはどうしてか?とよく訊かれるのですが、もし一言でいうなら私は絵には値段はないと思っています。例えばAさんとBさんが同じ絵を見て値段をつけたとき、いちばん高く値をつけた人がその値段で絵を買うのです。美術の世界では、いちばん高い値段で作品を落札すると、次の競りではそのいちばん高い値段が妥当であるという中で売買が行われています。いい絵を妥当な金額で買われるのがいちばん正当な絵の買い方なのではないかなと思います。
本日はありがとうございます。

第2513回 例会

2013.10.27~28
会員親睦旅行に行ってきました。



2013~2014年度 10月 出席表

会員名	第2510回 10月3日	第2511回 10月10日	第2512回 10月17日	第2513回 10月24日	第2514回 10月31日	当月 (%)	通算 (%)
井上 清	○	○	○	○	○	100.00%	100.00%
宇多村 海児	○	○	○	○	○	100.00%	100.00%
大木 保司	○	○	○	○	M	100.00%	100.00%
大塚 崇行	○	○	○	○	○	100.00%	100.00%
大塚 信郎	○	○	○	○	○	100.00%	100.00%
岡野 晴光	○	○	○	○	○	100.00%	100.00%
岡野 正明	○	○	M	○	○	100.00%	100.00%
神田 博一	○	M	○	○	○	80.00%	70.00%
吉川 公夫	○	○	○	○	○	100.00%	100.00%
久保田 勲	○	○	M	○	○	100.00%	100.00%
古賀 昇	○	M	○	○	○	100.00%	87.50%
小林 邦彦	M	○	○	○	○	100.00%	100.00%
齋藤 重美	○	○	○	○	○	100.00%	100.00%
齋藤 哲雄	○	○	○	○	○	100.00%	100.00%
齋藤 修弘	○	○	○	○	○	100.00%	100.00%
齋藤 博重	○	○	○	○	○	100.00%	100.00%
島村 健	M	M	○	○	○	100.00%	100.00%
須田 悦正	M	M	○	○	M	100.00%	100.00%
関口 秀夫	○	○	○	○	○	100.00%	100.00%
武重 雅之	○	○	○	○	○	100.00%	100.00%
富永 建	○	○	M	○	○	100.00%	100.00%
長沼 大策	○	○	○	○	○	100.00%	100.00%
名取 藤	○	○	○	○	○	100.00%	93.75%
沼尻 克美	欠	○	○	○	M	60.00%	65.00%
野瀬 将正	○	M	○	○	○	100.00%	100.00%
萩原 修	○	○	○	○	○	100.00%	81.25%
樋口 雅之	○	○	○	○	○	100.00%	100.00%
深澤 圭司	M	○	M	○	M	100.00%	100.00%
藤村 作	○	○	○	○	○	100.00%	100.00%
細野 宏道	○	M	M	○	○	100.00%	100.00%
宮島 愛子	欠	M	M	○	M	80.00%	57.50%
村岡 武仁	○	M	○	○	○	100.00%	100.00%
横山 泰史	欠	欠	M	○	M	60.00%	90.00%
吉野 文朗	欠	欠	欠	○	欠	20.00%	36.25%
渡邊 清	M	○	○	○	○	100.00%	81.25%

出席 会員数	35	出席数	28
欠席 欠席数	7	(%)	80.00
前回確定		欠席数	2
修正 (%)	94.29	(M・U)	7

